

市長施政方針

2月28日に開会した平成23年第1回美祢市議会定例会の冒頭に村田弘司市長が平成23年度施政方針を発表しましたので、その全文を紹介します。



美祢市長
村田 弘司

本日は平成23年度の予算案並びに諸議案のご審議をお願いするに当たり、私の市政運営に臨む所信の一端を申し述べ、市議会並びに市民の皆様より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、社会情勢に目を向けますと、国政においては、与党の掲げる政策は国民の支持を十分得られず、政策の仕切り直しを余儀なくされております。また、昨年の参院選後は衆参逆転によるねじれ現象が生じており、不安定な状況にあります。

一方、経済情勢においては、内需の低迷・輸出の鈍化、あるいは円高・デフレ傾向の継続などにより、経済の自律的回復は先行き不透明という混沌とした状況が依然として続いており、これらの社会情勢は、地方自治、地方経済にも大きな影響を及ぼして

おります。

しかしながら、このような状況下でこそ、第一次美祢市総合計画の5つの基本目標、すなわち、重点施策の1つであり、土台ともいえる「行政運営の強化」を図ることにより足腰を鍛え、他の四つの基本目標「安全・安心の確保」「観光交流の促進」「産業の振興」「ひとの育成」を強力に押し進め、私の政策の柱であり、総合計画の基本理念である「市民が『夢・希望・誇り』をもって暮らす交流拠点都市美祢市」の実現に向かって力強く突き進んで参る所存であります。それでは、平成23年度の主要施策について、総合計画の5つの基本目標に従い、ご説明申し上げます。

一、安全・安心の確保 医療・福祉の充実、都市基盤の整備

はじめに、市民生活の基本となる「安全・安心の確保」についてであります。

まず、保健・医療サービスの充実を図るため、美祢医療圏の確立を目指して、美祢市地域医療推進協議会において地域医療提供体制について

ご審議いただいているところではありますが、地域医療充実の必要性について広く市民の皆様にご理解いただけるよう、地域医療シンポジウムを開催することとしております。

次に、福祉の充実を図るため、要援護者を地域が一体となって支援していたり、地域見守りネットワーク整備強化事業や障害者に生き生きと日常生活を送っていただけるように障害者生活応援事業に取り組んで参ります。

次に、上下水道の整備を推進するため、水道未給水地区である於福下地区への上水道拡張に着手いたします。

次に、公共交通の充実を図るため、ミニバスの運行を美祢地域の山中・堀越地区、美東町北部地域に加えて秋芳町南部地域に広げるなど地域の足の確保に努めて参ります。

次に情報・通信分野の整備を図るため、市内全域での均衡ある情報化を進めており、特に美祢市有線テレビMYTの自主制作番組を早期に市内全域に放送できるように準備を進めて参りましたが、3月1日から美東・秋芳地域においても山口ケーブルビジョンでMYTの自主制作番組を放送していただくことになりました。これにより、議会中継や市内各地で開催される学校行事・イベントなどの放送を市内全域でご覧いただけるようになりますので、一体感の醸成に大きく寄与するものと考えております。

また、県外のテレビ局の番組を放送できるようにする区域外再送信の問題、また、美祢地域の多チャンネル化については、引き続き全力で取り組み、なお一層の情報一元化を進めて参ります。



次に、住環境の整備と定住促進を図るため、下領北団地の建替、住生活基本計画・市営住宅長寿命化計画策定に取り組みることとしております。

また、空き家情報バンク活用応援事業により、登録された空き家の改修を支援することにより空き家の一層の活用を図るとともに、外から見た美祢市を考える会と題して、市外から美祢市へ永住目的で転入された方のご意見をお聞きして、今後の定住対策に反映させてまいりたいと考えております。

その他、東京・大阪で開催されるUJターンフェアに参加して定住を呼び掛けるなどのUJターン促進事業、ハッピーウェディング支援事業等の定住促進事業に取り組みることにより住みよいまちづくりを進めて参ります。

次に、消防・防災の推進を図るため、昨年7月の豪雨により被災した土木施設・農林施設の早期復旧に引き続き力を注ぐとともに、災害の教訓を活かして、水道施設の浸水対策、防災拠点施設への土のうの備蓄、防災・防犯メールマガジンシステムの更新、土砂災害ハザードマップの作成、また、計画的な消防ポンプ自動車更新及び耐震性貯水槽の設置、さらには、下関市消防本部と平成25年10月から共同運用を目指す共同指令センターの実施設着手等により防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを進めて参ります。

また、JR美祢線は、昨年7月の豪雨により被災いたしました。現在復旧工事が急がれており、本市と長門市及び山陽小野田市の関係団体で組織するJR美祢線利用促進協議会を中心として復旧後の利用促進を図るとともに、本市単独でも、JR

美祢線を観光路線として活用するための駅周辺・沿線の景観整備及び、美祢線を利用して植樹体験等を通して環境について学ぶ美祢エコタビプロジェクト事業 などに取り組み、復活する美祢線を支援して参ります。

次に、消費者の安全確保のため、消費者相談員を配置するなど消費者問題対策事業を拡充いたします。

二. 観光交流の促進

観光・交流の活性化、

広域連携の強化

続きまして、2点目の基本目標である「観光交流の促進」についてであります。

基本理念に「交流拠点都市」と位置付けておりますように、特に観光交流に力を入れていくところであり、現在の観光人口約140万人を平成31年度には目標の250万人に拡大するため、本年度策定いたしました美祢市総合観光振興計画に基づき諸施策を推進して参ります。

まず、観光資源の強化と創造により観光振興を図るため、5年後の世界ジオパークの認定を目指して美祢市ジオパーク推進協議会を立ち上げてジオパーク認定推進に力を注いで参ります。ジオパークとは、地球遺産とも言えると考えておりますが、これに認定されるためには、協議会が中心となった取り組みが必要になります。このことは観光産業の育成やおもてなしの向上にとどまらず、市民の一体感の醸成にも効果を及ぼすものと考えております。

また、本年度に引き続き、サインシステム整備事業により本市を訪れ



アーチ型看板

てくださるすべての方々の円滑な市内回遊的確保を促進するためサインシステムの整備を進めて参ります。平成25年度までに、主なポイント50箇所アーチ型の圏域案内、広域案内、誘導サインなどを設置する予定としております。

なお、秋吉台観光まつりについては、昨年は豪雨災害によりやむなく開催することができませんでしたが、本年度はこれまで以上に趣向を凝らして、内容を充実して開催したいと考えております。

次に地域間交流・国際交流を推進するため、マスメディアを活用して